

## 20210510 全校朝会講話

新しい学年、新しいクラスで1か月が過ぎました。お友達の輪は広がりましたか。「あいうえお」の「い」のいじめなしは、できていますか。「友達のいやなことはしない」これを一人一人が心に刻んで、誰もが安心して学べる学校をつくっていきましょう。嫌なことや悩みごとは、すぐに先生に相談しましょう。校長先生もいつでもお話を聞きますよ。

さて、5月になって初めての全校朝会ですから、5月に関係したお話をします。5月といえば・・・いろいろ思い浮かぶものがあると思いますが、今日は「こいのぼり」のお話です。こいのぼりには、歌があります。

「屋根より高い こいのぼり・・・」

というのは、みなさんお馴染みですね。それとは別に

「薨の波と雲の波、・・・」

というのがあります。5年生の音楽の教材にもなっています。

とてもいい歌なので、聞いてみましょう。

・・・鯉のぼり・・・歌詞カードを写す

今日、詳しくお話したいのは「こいのぼり」の3番です。

♪百瀬（ももせ）の滝を登りなば、  
忽（たちま）ち竜になりぬべき、  
わが身に似よや男子（おのこご）と、  
空に躍るや鯉のぼり♪

百瀬の滝とは、古代中国の「竜門」と呼ばれる滝のことです。この滝を登り切った鯉は、竜となって天に昇るとの故事があります。多くの鯉が挑みますが、その流れの速さと水量、絶望的なほどの高さ、そして、上る魚を狙う漁師や鳥たちによって、万に一つも上り切るものはいないといわれます。それほどの困難を越えるからこそ、鯉は竜になれるのです、どんな困難にもあきらめずに挑戦し、いつか立派な人物に成長して欲しい、そんな願いがこいのぼりには込められています。こいのぼりを見上げるたびに、「負けてたまるか」と皆さんは負けじ魂を奮い起して欲しいと思います。向かい風を受けて力強く泳ぐこいのぼりのように、自分から「チャレンジ」の向かい風を起こして、困難な状況であっても自分を磨いていく、そんな逞しい五小の子ども達であってほしいと思います。

お話をおわります。

令和3年5月10日

小平市立小平第五小学校長 松本 雅史